

高校1年 家庭基礎

これからの消費生活と環境 「タピオカドリンクブームは世界を救えるか」

学校全体の取組

「主体的・対話的で深い学び」
の視点に基づく授業改善

授業の流れ

授業のポイント

タピオカドリンクブームが社会や環境に及ぼす影響について考察し、安易に流行や利便性、経済合理性のみを追求するだけでなく、社会や環境への影響を意識した責任ある消費について考えさせる。ジグソー法的手法を取り入れ、多面的・多角的に物事を捉え、様々な学びを関連付けて考えさせるようにする。



導入

- ① 前時のアンケート調査の結果からテーマを捉える視点について知る。
- ② 授業の進め方を知り、学びの見通しを持つ。



展開

- ① 自分が担当する資料について、まとめた内容や自分の考えをワークシートに記入する。（一人で導き出す）
- ② 同じ資料を担当するグループで、班員に伝える内容を共有・議論し、自分がまとめた内容を見直す。（グループで導き出す）
- ③ 自分でまとめた情報を班員に分かりやすく説明し、共有する。
- ④ 四つの視点を踏まえてタピオカドリンクブームを捉え、多面的・多角的に再思考する。



終末

授業を振り返り、
テーマについて自分の
考えをまとめ、そ
の変容に気付く。

- ① 身近なテーマから、地球規模の課題を自分事として捉えられるようにする。
- ② ジグソー法的手法による資料のまとめや発表を通して、主体的・協働的に学習に取り組むようにする。
- ③ 資料や他者の考えを基にテーマの理解を深め、一つのテーマについてさまざまな視点から考えさせるようにする。

指導項目

※学習指導要領解説（平成30年告示）家庭編に基づく

- C 持続可能な消費生活・環境
- (2)イ 自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について考察し、工夫すること。
 - (3)イ 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について考察し、ライフスタイルを工夫すること。

評価について

授業で用いたワークシート、学習形態ごとの活動の様子について
の見取りを基に、持続可能な社会の構築の視点で、テーマについて
自分の考えをまとめ、行動に結び付けようとしているかについて評
価する。

目指す生徒の姿

- 主体的に課題解決に取り組むことができる。
- 多面的・多角的に物事を捉えることができる。
- 学びを関連付けて考えることができる。